

13 柔道

- 1 日 時 令和8年8月5日(水)・6日(木)
- (1) 大会1日目
- 開会式 11:40～
- 男女個人戦 12:00～16:00
- 個人戦表彰式 16:00～
- (2) 大会2日目
- 女子団体戦 10:00～
- 男子団体戦 女子団体戦終了後
- 団体戦表彰式 16:00～
- 2 会 場 大浜だいしんアリーナ
- 〒590-0974 大阪府堺市堺区大浜北町5-7-1 TEL 072-225-4421
- 南海電鉄南海線「堺駅」下車1.0km
- 3 競技規則 『国際柔道連盟試合審判規程』及び『少年大会試合審判規程』並びに『本大会申合せ事項』による。
- 4 競技方法 (1) 団体戦
- ①男女とも18チームによるトーナメント戦を行う。
- ②男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
- ③チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。
- ④試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(GS)は無制限とする。
- ⑤勝敗の判定基準は技によるスコア又は「僅差(『指導』の差2)」とする。
- ⑥代表戦は任意の選手とし、判定基準は個人戦と同様とする。
- (2) 個人戦
- ①男女とも各階級12名によるトーナメント戦を行う。
- ②試合時間は3分間とし、延長戦(GS)は無制限とする。
- ③勝敗の判定基準は、技によるスコア又は「僅差(『指導』の差2)」とする。
- 得点差が無い場合は、延長戦(GS)により勝敗を決する。延長戦(GS)で新たに指導差がついた時点で勝敗が決する。
- ④体重区分は以下の通りにする。
- (男子) 50kg級、55kg級、60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、90kg超級
- (女子) 40kg級、44kg級、48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、70kg級、70kg超級
- 5 計 量 ①個人公式計量の前に個人・団体非公式計量(仮計量)を行うことを認める。
- ②公式計量は指定された時間内に1回とし、再計量は一切認めない。
- ③計量を受けなかった場合は大会出場を認めない。
- 6 柔道衣点検 ①係員が目視で行う(IJFマーク含)。
- ②現行の(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿・帯)を着用すること。(赤枠認証マーク・認証番号)
- ③柔道衣に必ずゼッケン(チーム名・名字入り)を縫い付けて出場すること。
- ア 布地は白(晒・太綾)とする。
- イ サイズは、横30cm～35cm、縦25cm～30cmとする。
- ウ 名字(姓)は上側2/3、チーム名は下側1/3とする。
- エ 書体は太字ゴシック体とするが、明朝または楷書でも可とする。

- 文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
- オ 縫い付け場所は襟から5 cm～10 cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- カ 胸にチーム名の刺繍がある場合は、ゼッケンと一致していることとする。

- ④女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。
- ※Tシャツのマーキングについては、全日本柔道連盟が定める規定に準ずる。
- ⑤柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用し受けること。

7 その他

- (1) 諸問題が生じた場合は、専門委員長会議で審議し決定する。
- (2) 皮膚真菌症（トンスランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚感染症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- (3) 脳震盪対応について選手及び指導者は下記事項を遵守する。
- ①大会1ヵ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急専門医の精査を受けること）
- ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④当該選手の指導者は大会事務局に対し、書面により事故報告を提出すること。

8 連絡先

大阪市立大正東中学校 岡本 航
〒551-0002 大阪府大阪市大正区三軒家東4-4-30
TEL 06-6551-0630 FAX 06-6555-4876